

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年3月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4699400091
法人名	株式会社 フォーユー
事業所名	グループホーム ひだまり
所在地	鹿児島県大島郡和泊町国頭2959番地1 (電話 0997-92-2398)
自己評価作成日	令和5年2月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年3月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域とのつながりを大事に馴染みの関係の継続ができるように努めています。全利用者が地域の長寿クラブの会員になり、定例会には参加して、演芸を楽しんだり友人や知人との交流をとっています。コロナ禍において開催されなかった月もありますが、来年度こそは、毎月開催されることを楽しみにしています。また、ホーム前を通過するマラソン大会には、沿道で応援グッズを持ち応援。皆さんに喜んでいただいています。外出もままならない中でできることを取り入れ園庭でのお茶会、ランチ、夏祭り、焼き芋パーティーなど行い、それらの準備や当日の係など役割を持っていただく等できることを継続できるように支援しています。ホームはいつも笑い声や明るい雰囲気になっています。地域の方、退所された御家族とのつながりもあり、季節の野菜や果物、切り花、古新聞などの提供があり馴染みの関係は築かれています。地域の皆さんに支えられて穏やかに過ごせることに感謝しながら、ケアの面でも落ち着いた環境の中で過ごしてもらえるように職員会においての介護技術研修会の実施やコミュニケーション能力の向上に努めています。また、最後の時まで一所懸命生きてこられた仲間の旅立ちには全利用者、全職員でお見送りしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・理念を基に管理者・職員は、職員会議で話し合いをしながら、日々のケアに取り組んでいる。
- ・長寿クラブの会員である利用者は、定例会に参加したり地域の方々と交流を深めている。子供たちが事業所の草取りに来てくれたり、持久走大会時には沿道で応援している。また、地域からの野菜や果物・花・古新聞等の差し入れがあったり、地域から介護や認知症についての相談事を快く受けて応じている。
- ・運営推進会議には役場の職員や地域の役員の委員が参加し外部評価の報告や困りごとの相談等にも協力的で、地域に愛され信頼される事業所になるように努めている。
- ・コロナ禍でも、ガーデンカフェをしたり買い物や医療機関受診後に自宅訪問をしたりして、外出支援の工夫をしている。
- ・管理者・職員は仲が良く何でも相談できる関係ができており、働きやすい職場環境である。
- ・医療機関との連携が取れており、重度化や終末期・看取りができる体制ができています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	常に理念に基づいたケアを心がけています。	理念は事務所・玄関・ホールに掲示している。職員会議や研修会でも理念について話し合い、理念を全職員が共有しながらケアの実施に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で参加できる行事は少ないが感染防止に努めながら長寿クラブ定例会や学校の行事にも参加できている。	地域の長寿クラブに加入し定例会に参加している。学校の持久走大会の応援を沿道でしたり子供たちが草取りをしてくれている。秋にハロウィン交流会の開催を行ったり、野菜や果物・花・古新聞の差し入れを近隣からいただいた。認知症や介護の相談事を受けたりして、日常的に地域の方々と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の体操教室や運営推進会議時に認知症についての相談等があるときには相談窓口や介助法についての助言やアドバイスを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者の状況やホームの日常の様子、外部評価の結果、職員の状況など紹介し、感想や助言をいただきケアに活かしています。</p>	<p>定期的に会議を開催し、事業所の状況等について報告をしたり、外部評価の報告も行い、サービス向上に活かしている。事業所は地域住民が気軽に訪ねてきて相談したり出来るので頑張っていて欲しいとの励ましや園庭の砂利は車椅子が押しにくいとの意見があり、通る部分の砂利を撤去した。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>常に連携はとれており、事業所の取り組みや実情も理解されていると思います。</p>	<p>役場職員とは常に連絡を取り合っている。運営推進会議にも参加してもらっていて協力関係ができています。事業所にも訪ねて来てくれる。地域包括支援センターの職員との連携も取れている。研修会の参加の連絡があり参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>勉強会を開催しており理解はしていると思います。動きのある利用者がありチャイム音を取り付けているが、建物が県道沿いにあるため安全のため施錠している時間帯がある。（早出さんが出てくるまでの時間）夜間は防犯の為に施錠している。</p>	<p>身体拘束廃止委員会があり職員会議に合わせて勉強会を実施している。言葉遣いに配慮し、目配りや気配りを行っている。玄関等はメロディの違うチャイムを設置している。外出の希望がある利用者には事業所の周りを散歩している。全職員が拘束をしないケアに努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>定期的な勉強会を開催、また月に1回「虐待の芽チェックリスト」を行うことで、常に意識して虐待防止に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会はしていますが、現在利用者はいません。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には十分な時間を取り説明を行い、改定時には文書と面接で説明を行っています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族の面会時のコミュニケーションや運営推進会議への参加、苦情受付窓口やご意見箱を設置しています。</p>	<p>利用者とは日常の中で思いを聞いている。家族とは面会時や運営推進会議の時に意見・要望を聞いている。コロナ禍で面会制限があったが面会を希望される家族が多く、テラスや利用者の部屋の窓の外等で面会を行った。毎月写真入りのホーム便りを発行し家族から喜ばれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議での意見をまとめ検討本社とも相談して反映できるようにしています。</p>	<p>職員からの意見は、職員会議の折や個別にも話をしている。通勤手当の件や夜間寝ない利用者の対応等を検討し、見守りをする事で落ち着いた件等、職員の意見を運営に活かしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格や勤務実績を考慮した給与体系を就業規則で公表しています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>個々の力量にあった指導を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ禍で研修会への参加はなかなかできなかったが、リモート研修には参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>安心して過ごしていただけるよう信頼関係をもち、不安や要望など思いを知り職員間で共有しています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>契約前の見学や契約時に時間を十分に取り家族からのいろんなことを聞き取り不安なく施設の生活はできるように努めています。近況など報告して安心できるようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>家族の意見や利用者の状態把握に努め必要な支援を提供できるように努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人のできることを支援し「できる」「できた」ということに自信や希望を持ってもらえるように一緒に行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ感染状況を見ながら面会場所を設け家族とのコミュニケーションをとっています。また、月1回の便りでの近況報告、体調変化時の電話対応など関係を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在は回数は減っているものの地域の長寿クラブ定例会や電話面会などつながりが途切れないように支援しています。	買い物や医療機関受診時に自宅を訪問したりしている。家族からの電話の取次ぎや面会に来てもらっている。地域の長寿クラブの定例会等にも参加したり、近所の美容室に職員が送迎し、馴染みの関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性を把握し座席の配置等家事作業や制作活動など一緒にかかわりあえる支援に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	季節の挨拶状や声かけ、ホームへの訪問や物資の提供など関係性は続いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	これまでの生活歴を考慮し、行動、言動から思いや暮らし方を把握してその人らしい生活ができるように努めています。	利用者の生活歴や日々の行動や言動から思いや意向の把握に努めている。職員からは選択しやすい声掛けを行ったりしている。困難な場合は家族等から意見を聞いて職員会議で話し合いをしながら本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族、ケアマネジャー、地区民生委員の方などから多くの情報を得るようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の心身状態を把握して「できること、したいこと」をしていただき、落ち着いた中で過ごしてもらえるようにしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の面会時や職員会会で個々の状態を確認して支援方法を考えている。	介護計画の見直しは6ヶ月、モニタリングは毎月または見直し時に行っている。状態や状況の変化に応じてその都度見直しを行っている。本人・家族や主治医から意見を聞いて職員会議でも話し合いを行い現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録に記入し、職員同士で情報共有、介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>一人一人に合ったサービスに心がけ、柔軟性をもって個々の希望に沿ったサービスの提供に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の行事やイベントなどに参加して地域資源の把握に努め、可能な限り支援できるようにしています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月2回の訪問診療時にはホームで対応、緊急時は家族に連絡一緒に受診に付き添い安心を提供できるように支援。必要時には往診もしていただいています。</p>	<p>かかりつけ医が月2回訪問診療を行っている。月2回の訪問看護も受けている。他科受診や緊急時は職員が付き添い医療機関で家族と合流している。主治医がいつでも対応してくれ、訪問看護師にも状態を報告・相談しながら適切な医療が受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月に2回訪問看護時に状態を報告したり相談をしたり、主治医につないでもらったりと連携しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の入院時には、家族、病院と情報交換をし、早期に退院できるように病院側との関係づくりに取り組んでいます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に家族に終末期についての説明を行い、話し合いを踏まえ共通の意識のもとで取り組んでいます。	マニュアルがあり契約時に重度化や終末期の説明をしている。状態の変化に応じて本人・家族と主治医と職員で話し合いをし方針を共有しながら看取りを行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会や消防職員による講習会を実施して実践に活かせるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回避難訓練を行っています。</p>	<p>年2回消防署の協力をもらいながら昼夜間想定で火災や地震等の避難訓練を行っている。避難場所が県道を挟んでの場所なので一次避難場所を設けた方がいいとの意見で今回実施した。備蓄は缶詰やレトルト食品・水・米等の食品を3日間20名分準備している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重しその方の性格を把握しプライバシーを損ねないよう言葉かけや対応を行うようにしています。	プライバシーを損なわないように配慮し、自己決定しやすい言葉かけや対応を行っており、個々の人格の尊重を大切に支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者主体の声かけを心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい日常っ生活を基本に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	主体性を大切にしながら支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の好みを把握し、準備や片付けも一緒にするようにしています。	食事はデイサービスの厨房で管理栄養士の献立作成の食事をとっている。毎日のおやつと一緒に作ったり職員と一緒に皮むき等をしている。配膳・下膳、片付け等も一緒に行い、楽しく食事ができるように支援を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事形態、水分量、食事量を把握しトロミ材、補食、温冷や味変など取り組んでいます。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後実施しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表で状態確認して、トイレ誘導を行い自立に向けた支援や個々にあった支援をしています。	布パンツ・リハビリパンツの利用者がほとんどで排泄チェック表を活用しトイレ誘導を行い日中はトイレでの排泄を支援している。夜間はポータブルトイレ使用者もいる。排泄の自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝の牛乳や水分量が取れるように工夫しています。また、体操や風船バレーなど体を動かすようにしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	無理強いせず、体調を見ながら、2日に1回は入浴できるようにしています。	体調管理を行いながら週3回入浴日を設けている。シャワー浴の利用者がほとんどである。嫌がる場合はタイミングを見て声掛けを工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の室温や、季節ごとの寝具の交換、加湿器や湯たんぽの使用など安眠できるように工夫しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院や薬局と連携して行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できること、好きなこと、得意なことなど役割を持っていただくようにしています。天気の良い日には、中庭やテラスでのランチやお茶タイムで気分転換を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>ホーム周辺の散歩や、長寿クラブ定例会や自宅訪問など外出の機会を設けています。</p>	<p>年間計画がある。買い物や医療機関受診の帰りに自宅訪問をしたり、長寿クラブの定例会に参加している。天気のいい日にはガーデンカフェを楽しんだりしている。状況を見ながらお弁当を持って公園に行ったり、ユリや桜の花見等にも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を所持されている利用者はいないが、時々好きな食べ物を職員が買ってきて食べていただくことがあります。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>手紙や荷物が届いたら必ず電話をして話せる機会を多く持つるようにしたり、手紙をかいたり支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の壁面飾りを利用者と一緒に制作したり、季節の花を飾ったりして季節感を取り入れています。</p>	<p>リビングにはソファや畳みのコーナーもある。壁には利用者と一緒に作成した作品や季節の花も飾っている。換気や湿度温度にも配慮しており、居心地の良い共用空間になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂の畳のスペースで過ごしたり、居室での交流もあります。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家具や家族の写真や位牌など大切にしていたもの、好みのものをおき、快適に過ごせるように工夫しています。</p>	<p>ベッドとエアコンは事業所で設置し、家具や家族の写真、パッチワークや自分の作品を飾って楽しんだり、位牌に毎日お茶を供えたりして本人が居心地よく過ごせる居室になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレなどの案内板を出したり、安全な生活ができるように危険防止に努めています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない